

2018年度 社会学研究科 国際プロジェクト受講生募集要項

1. プログラム内容

(1) 目的

立命館大学大学院社会学研究科では、2008年度より3年間、文部科学省の大学院教育改革支援プログラム（大学院 GP）に採択され、「海外大学共同による比較調査研究型教育～アジアと欧米をつなぐ国際的な社会調査研究のスペシャリスト育成～」を実践してきました。その取り組みを継続して、2011年度から2017年度までは「Global Project」、2018年度からは「国際プロジェクト」として実施しています。

グローバル化が著しく進む今日の世界では、国境を越えたグローバルスタンダードとしての共通性が求められる一方でその地域の文化や現状を理解し、地域的な特性をふまえた社会構築が必要とされています。本プログラムは、この課題に応えるため、欧米社会を反映した現代社会科学の理論フレームを理解しつつ、欧米一辺倒でない社会像やアジアの実態と行く末を考えられる複眼的視野を養い、実践的な調査スキルを備えて国際的に活躍できる人材・研究者を育成することを目的とします。

(2) 内容

本プログラムでは、3つのプログラム＜①履修指定科目の履修 ②メンター制度 ③IPACにおける研究成果発表＞により、「社会調査メソッドの修得」と「国際的な情報発信能力の養成」を目指します。

①履修指定科目の履修

本プログラムでは履修指定科目を履修することで、国際比較調査に必要な知識とスキルを修得します。履修指定科目は以下の科目の履修を基本とします。

【履修指定科目の一覧】

履修指定科目	開講期間	内容
【新入生】 「国際プロジェクトⅠ」 【2017年度以前入学生】 「応用社会学特殊講義 C (SAクラス)」 単位数：2単位	2018年度 春学期	今日のグローバル化の動態やそれを捉えるための基礎理論、およびそのもとの日韓社会の変化を、家族、ジェンダー、文化の諸点から浮き彫りにする講義を英語で実施。15回の講義は、立命館大学、英国・ランカスター大学、ロンドン大学 SOAS、ライプチヒ大学、韓国・中央大学の教員が主に担当する。また、TV会議システムにより韓国・中央大学の院生も同時受講する。
【新入生】 「国際プロジェクトⅡ」 【2017年度以前入学生】 「資料文献研究ⅠA」 単位数：2単位	2018年度 春学期	国際プロジェクトⅠの講義に出席する受講生を主な対象とする（それ以外の学生も受講可能である）。英語で行われるリレー講義の内容について理解を深めるために、講義の前に通読することが推奨される文献を中心に、理論的研究および日本・韓国等アジア社会の変容および現状、その他のテーマに関連する研究論文や資料を講読する。
【新入生】 「国際プロジェクトⅢ」 【2017年度以前入学生】 応用社会学特殊講義 C (SBクラス) 単位数：2単位	2018年度 秋学期	2019年度の調査実施を想定し、量的調査とともに質的調査等、習得すべき調査手法の範囲を広げながら、2019年度調査内容を見通してこれに関連する文献や先行事例の検討を行う。これにより、受講者自らが調査研究に関するプロポーザル（研究計画）が描けるようになることを目的とした授業展開を行う。次年度に調査を共同で行う海外大学（韓国・中央大学等）とは、対面交流あるいはTV会議システムを通じた事前の研究交流を行い、共同調査に向けた意識の共有化と連携を早期に進める。なお、調査領域・テ

		ーマについては、家族、ジェンダー、労働等に関する比較調査やメディア領域の共同調査を想定しているが、受講生の研究領域の実態に応じて、海外の大学と共同研究の連携が可能な他の領域も追求する。
【新入生】 「国際プロジェクトⅣ(春学期)・Ⅴ(秋学期)」 単位数：各 2 単位 【2017 年度以前入学生】 「研究プロジェクトⅠ(春学期)・Ⅱ(秋学期)」	2019 年度 通年	春学期の科目と秋学期の科目をセットで履修する。国際的な視点に基づく調査を実施することを目標として授業を行う。春学期には、参加者間で調査の企画・実施に関する議論を英語で行い、調査トピックの確定および調査票を作成する。秋学期には春学期の結果として得られたデータの分析と考察を行う。そして、それらについて英語で論文執筆および研究報告を行う。

※各科目内容の詳細についてはシラバスを参照してください。

【履修指定科目の履修期間】

履修指定科目は、2018 年度前期セメスターから 2 年間継続して履修することを基本とします（以下①）が、修士および博士論文の執筆計画や研究計画等に合わせて、2018 年度後期セメスターから履修指定科目の履修を始めることもできます（以下②）。

期間	2018 年度		2019 年度
	春学期	秋学期	通年
科目	【新入生】 「国際プロジェクトⅠ」 「国際プロジェクトⅡ」 【2017 年度以前入学生】 「応用社会学特殊講義 C (SA クラス)」 「資料文献研究ⅠA」 単位数：各 2 単位	【新入生】 「国際プロジェクトⅢ」 【2017 年度以前入学生】 応用社会学特殊講義 C (SB クラス) 単位数：各 2 単位	【新入生】 「国際プロジェクトⅣ(春学期)・Ⅴ(秋学期)」 【2017 年度以前入学生】 「研究プロジェクトⅠ(春学期)・Ⅱ(秋学期)」 単位数：各 2 単位
①	履修	履修	履修
②		履修	履修

※国際プロジェクトⅠ/ 応用社会学特殊講義 C(SA クラス)は他研究科在籍者を含め、本プログラムの受講生でなくても履修することができます。また、国際プロジェクトⅢ/応用社会学特殊講義 C (SB クラス) は社会学研究科の在籍者であれば、本プログラムの受講生以外でも履修することができます。

②メンター制度

英語を母国語(母国語ではなくとも同等のレベル)として話す院生の協力により、本プログラム受講者の英語による情報発信、国際調査の指導・援助を行う制度です。2018 年度後期セメスターから、受講生 1 人ひとりについて 1 名のメンターが割り当てられ、電子メールや Skype を通じたリアルタイムのコミュニケーションを日常的に行うことで、実践的な英語運用力を磨きます。

③IPAC における研究成果発表

日本と韓国で毎年交互に開催している IPAC (International Postgraduate and Academic Conference) において、英語で発表を行います。IPAC では例年、立命館大学、韓国そして英国等の院生、教員が多数参加し活発な研究交流が行われています。IPAC での発表は、「立命館大学大学院二年次対象成績優秀者奨学金」(前期課程対象) および「立命館大学大学院博士課程後期課程研究奨励奨学金」(後期課程対象) の採用者を選考する際に、研究業績として評価しています。

(3) 本プログラムのサポート体制について

本プログラムの受講者を日常的にサポートする部署として、「国際調査・教育センター」が以学館1階産業社会学部事務室内に設置されています。国際調査・教育センターでは担当教員が、本プログラム担当教員としてみなさんの履修をきめ細やかにサポートします。履修に関する質問・相談がありましたら積極的に活用してください。また、本プログラムの受講生は、センター内にある専門書籍を利用することができます。

2. 応募条件について

次の(1)から(3)の条件をすべて満たす者。

- (1) 2018年4月1日時点で社会学研究科博士課程前期課程もしくは後期課程に在学している者
- (2) 本プログラムの参加について指導教員から了解を得ている者
- (3) TOEFL®PBTテスト480点以上、TOEFL®CBTテスト157点以上、TOEFL-iBT®テスト54点以上またはTOEIC®スコア600点以上の者(または同等の語学力を持つ者)、もしくは今後、同等の語学力を持つようとする意欲のある者。

3. 募集定員について

5名程度

4. 受講手続について

「社会学研究科国際プロジェクト受講申請書」(所定書式)をメール添付で提出してください。申請書はmanaba+Rよりダウンロードできます。

【申請書ダウンロード】manaba+R→社会学研究科のページ→履修・受講登録→その他研究科独自プログラムの履修情報掲載ページ

【提出先アドレス】shaken1@st.ritsumei.ac.jp

募集期間	2018年3月23日(木)～4月6日(金)午前11時(厳守)
------	--------------------------------

*秋学期から受講を希望する場合は、6月下旬にも若干名の追加募集を予定しています。

5. 選考方法について

書類選考(面接を実施する場合があります)

6. 選考結果について

選考結果については4月12日(木)13時にmanaba+Rに個人宛に通知します。

7. その他留意事項

(1) 科目の受講について

応募者は受講許可前であっても授業には出席して下さい。また、履修指定科目の受講登録は、事務室が行いますので、各自での受講登録は不要です。

(2) 社会調査士・専門社会調査士資格について

本プログラムの受講にあたっては、社会調査士・専門社会調査士の資格を取得していることが望ましいですが、取得していない場合でも受講することはできます。ただしその場合は、本プログラムの受講と合わせて、社会調査士・専門社会調査士の資格課程に所属し資格取得に必要な科目を履修することを推奨します。

(3) 保険への加入について

海外実地調査を実施する場合は、受講者には保険に加入していただきます。詳細は別途案内します。

<お問い合わせ先>

産業社会学部事務室（大学院担当）まで相談してください。

TEL : 075-465-8185

E-mail : shaken1@st.ritsumei.ac.jp

以上